



れんけい

地域医療
連携広報誌
TAKE FREE
44
Jan.2023

県民の皆様方に信頼され、患者さん本位の安全で良質な全人的医療を提供します。



特集：ベストドクター対談

話題：膝関節の痛みでお困りの方へ

- ・ 診療科の紹介 — 歯科口腔外科 —
- ・ 新任部長の挨拶 — 循環器内科：高血圧科部長 —
- ・ WEB診療予約開始について
- ・ 看護部からのお知らせ

Doctors Interview

ベストドクター対談

インタビュー：地域医療連携部長／横井 達夫



地域の皆様に信頼される医師でありたい

先頃、当センターの3人の医師が「ベストドクター2022-2023」に選ばれました。1989年にハーバード大学の医師によって創業され、現在は70カ国に拠点を置くベストドクター社が認定するベストドクターは、「自分や大切な人が治療を必要とする際、誰に治療を委ねるか」を基準に、同分野の医師が信頼できる医師を評価・選定するもので、認定は全医師の0.6%程度とされています。そんな栄誉を記念し、横井達夫副院長の進行のもと、3人の先生たちが思いを語りました。

—この度はおめでとうございます。選ばれて、どんなお気持ちですか？

永井 ありがとうございます。驚きで実感がわかず、私でいいのかなと振り返るうちに、医師としてやって来られたのは家族や先輩方など周りの方々のお陰だと感謝の気持ちがこみ上げました。医学部へ進学させてくれた両親にも感謝しています。認定証を診察室に飾ったら患者さんも喜んでくださって、励ましの言葉を頂くうちに、ようやく実感できるようになってきました。

長尾 私も信じられなかったのです

が、どんな患者さんもお断りすることなく診療し続けてきたことが、この結果につながったのかなと思います。診療には看護師さんや検査技師さんの力が欠かせませんし、乳がん以外に基礎疾患のある患者さんも多いため、さまざまな先生に助けられています。皆様に支えていただいたからこそ選んでいただけたのだと、ありがたく思っています。

山崎 ベストドクター社の選定は、内外の専門医の推薦によるものと聞いています。普段よりご指導頂いている諸先生方からの叱咤激励と受け止め、さら

に精進しなければと気持ちが引き締まりました。私の内視鏡診療は、同僚医師はもちろん、看護師をはじめ臨床工学士や事務職員の皆さんの協力があってこそ成り立っています。多くの関係者の方々に感謝申し上げます。

—当センターとしては、地域医療連携の中で先生方の力を地域に役立ててほしいと考えています。

山崎 当院では多くの消化管がん患者さんの内視鏡治療を実施していますが、対象は早期がんですので早期発見



主任部長・乳腺外科部長
長尾 育子

- 日本乳癌学会 乳腺専門医・指導医
- 日本外科学会専門医
- マンモグラフィ読影認定医

消化器内視鏡科部長

山崎 健路

- 日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- 日本消化器病学会 専門医・指導医
- 日本消化器内視鏡学会 専門医・指導医

皮膚科部長

永井 美貴

- 日本皮膚科学会認定皮膚科専門医・指導医
- 岐阜大学医学部客員臨床系医学教授

副院長・整形外科主任医長

横井 達夫

- 日本整形外科学会専門医
- 日本手外科学会専門医
- 岐阜大学客員臨床系医学教授

が重要です。岐阜市では2022年から内視鏡による胃がん検診がスタートしていますが、地域の先生方のご協力のもと、更に多くの方々に内視鏡検査を受けて頂く機会が増えることを期待しています。大腸がん検診においては便潜血反応が陽性と指摘されても、内視鏡検査を含めた二次検査の受診率が低いことが全国的に指摘されており、胃がん検診と同様、地域の先生方との連携が欠かせません。

長尾 当センターの乳腺外科は、診断から治療までを担っています。乳がんは女性特有の疾病ですし、地域には専門のクリニックがないので、不安を感じる患者さんには当センターでの受診を勧めていただきたいです。気になる患者さんがいらっしゃいましたらご紹介ください。地域の先生方に乳がんへの関心を高めていただき、何かあれば、いつでも気軽に連絡・相談していただきたいと思います。地域連携は、副作用や合併症を抱える患者さんのケアや経過観察においても重要ですので、先生方との密な関係構築に努めていきたいと思っています。

永井 皮膚科は時に皮膚科専門医以外の先生も関わることもある分野であるため、先生方が一人で悩まれるケースもあるのではないのでしょうか。私は皮膚科専門医ですし、ここには総合病院ならではの利点があります。他科の先生方に相談したり、場合によっては、併診をお願いできます。皮膚疾患から内科

的な疾患を知ることもありますので、地域の先生方が迷ったり悩んだりされることがあれば、気兼ねなくご紹介いただければ幸いです。

山崎 同感です。地域の先生方の御尽力のお陰で、当院の消化管がんに対する内視鏡治療件数は東海地方の施設の中でも比較的多く、良質な医療を提供できる体制が整っています。高度な医療機器と豊富な治療経験の実績を活かして、正確な診断・適切な治療が提供できるように日々務めています。また、がんの領域以外でも診断・治療に迷われるような際には是非ご相談ください。私たちから地域の先生方へのフィードバックが、患者さんへのより良い医療提供に役立つことができれば幸いです。

—先生方は志を持って日々診療に取り組まれている訳ですが、ベストドクターになられて何か思いを新たにされたことはありますか？

永井 私を指導してくださった憧れの先生方は、今も連続してベストドクターの認定を受けられています。私は先輩方には及びませんが、私が先輩方に育てていただいたように、今は私が若い人々を教育する立場になってきたと感じています。後輩に慕われ、頼りにされる医師でありたいと思いますし、職場全体が地域の皆様に愛される存在になることを目指したいと思っています。

山崎 診断から治療まで完遂できる消化器内視鏡診療は、医師としての手応えを実感できるやりがいのある分野です。今後益々医療技術は進歩し、内視鏡のニーズは増していくと思います。若手医師と共に、内視鏡診断・治療の更なるレベルアップが図れるよう、自身も常に努力していきたいと思っています。

長尾 乳がんは若い女性がかかることの多い疾病で、子育て中のおかあさんや社会で活躍している人が急に病気と向きあうことになって悩まれるケースがほとんどです。しかし、早期発見できれば治療効果は高く、診断・治療によって患者さんたちの役に立てることにやりがいを感じています。治療期間が長く、社会生活を送りながら治療を続けていただく形になるので、患者さんに寄り添い続けていきたいと思っています。医師として、以前からそういう心がけを持っていたつもりですが、今回ベストドクターに選んでいただいたことで、その名に恥じないように、患者さんに対しても地域の先生方に対しても、いっそう気持ちを引き締めて向き合っていかなければと思っています。

—ありがとうございます。先生方のお話を聞いて、とても頼もしく感じました。これからも力を合わせて当センターを、地域連携をもり立てていきましょう。

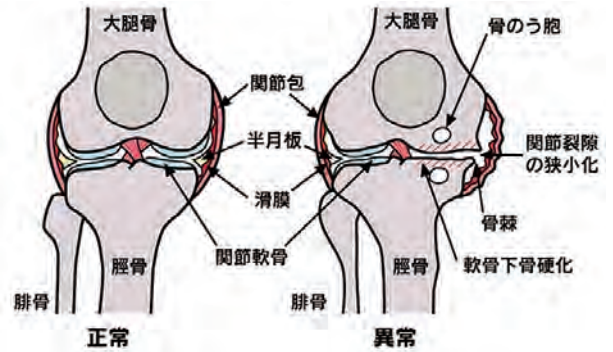
膝関節の痛みでお困りの方へ 当院での治療内容のご案内



整形外科 棚橋 宏行 / 白井 剛志

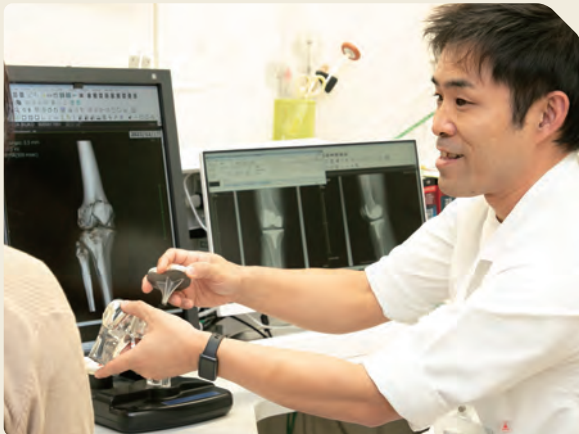
変形性膝関節症について

膝関節の痛みにはいろいろな原因がありますが、中高年の方に最も多いのは、関節軟骨がすり減って起こる『変形性膝関節症』です。本邦では予備軍も含めると、男性が860万人、女性が1670万人と50歳以上の2人に1人が変形性膝関節症と推計されています。



高齢化が加速する現在、元気な日常生活を送るためには、関節機能を保つことが直接日常生活動作(ADL)や生活の質(QOL)の向上に大きく寄与すると考えられます。痛みにより買い物や旅行、趣味などが行えないことで精神的にも前向きになれなくなる方も多いかと思えます。膝関節痛により活動性の低下を余儀なくされている対象の患者様がおられましたら、地域医療連携部を通じ、お気軽にご相談ください。

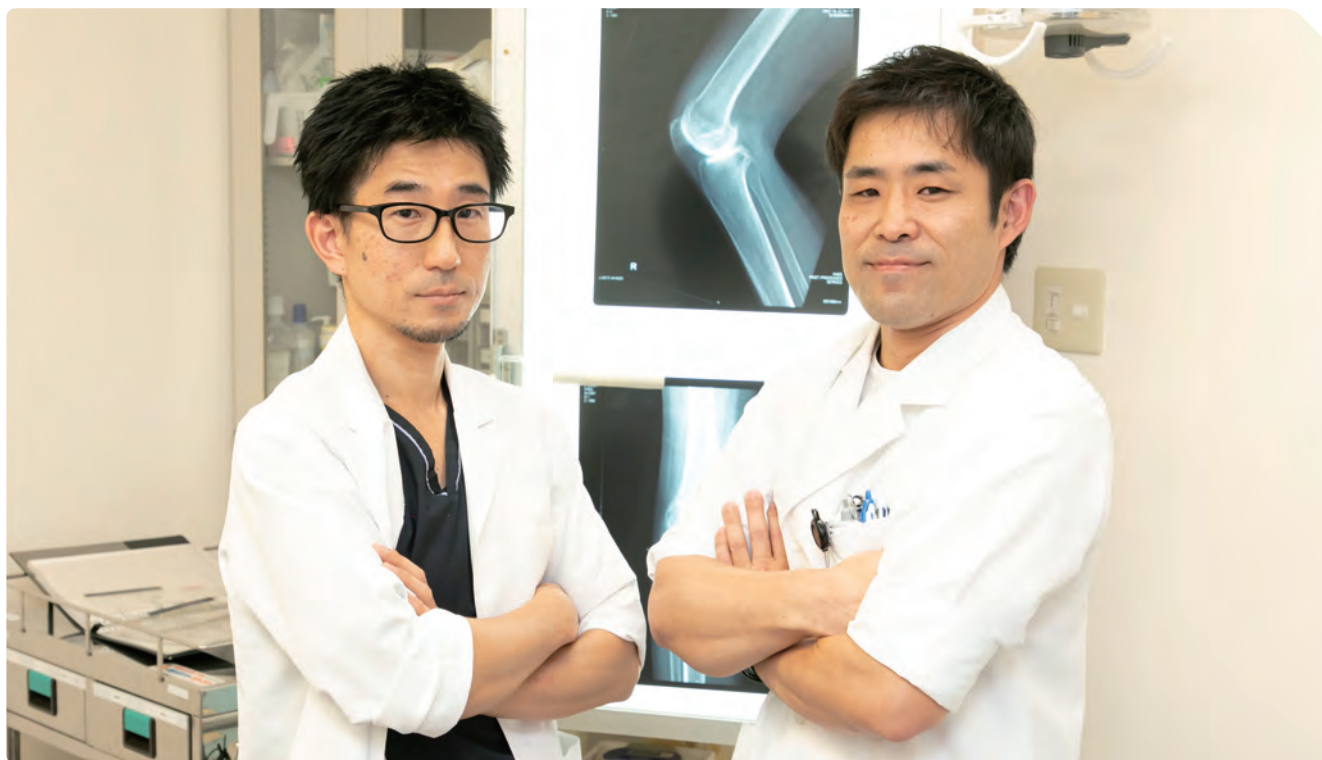
整形外科外来 担当医師



棚橋 宏行(月曜 / 木曜)



白井 剛志(火曜 / 水曜)

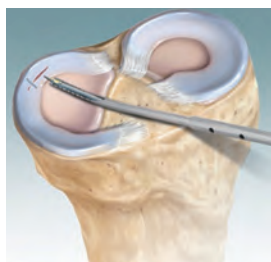


各種治療法のご紹介

保存治療(薬物治療・理学療法・装具療法)に抵抗性のある方に対しては、当院では、変性の進行の程度のみでなく、患者様のADL、生活様式に応じた治療選択を行っております。

鏡視下手術

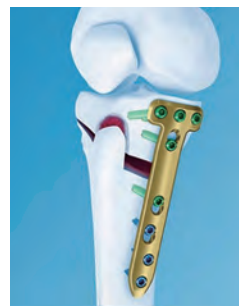
半月板の縫合/切除術や骨棘切除など、主に変性初期の方に実施します。



出典: Arthlex

骨切り術

下肢のアライメントを矯正することで、すり減った軟骨を保護します。主に若年/活動性の高い方に実施します。



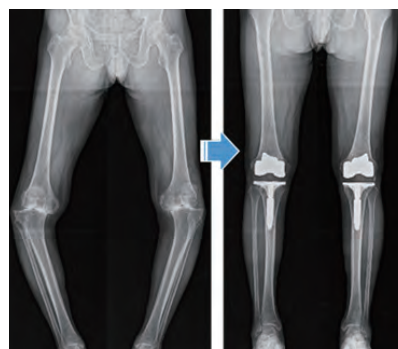
出典: DepuySynthes

人工関節置換術

変性の進行した方に対しては、人工膝関節置換術を選択します。症状/変性の進行に応じて、片側置換(図1)や全置換(図2)を適応します。入院期間は2-3週間程度で、杖歩行での退院を目標としています。



— 図1 —



— 図2 —



Ishimaru Junichi
石丸 純一

専門分野

顎関節疾患
口腔外科疾患全般

■資格

- 医学博士
- 日本口腔外科学会専門医
指導医・代議員・国際学術委員
- 日本顎関節学会専門医・指導医
- 歯科医師臨床研修指導医



■地域医療機関との連携

しかしながら年間7千人を超える当センターの手術患者に対し、この口腔機能管理を提供することは歯科口腔外科スタッフだけでは困難であり、かかりつけ歯科の先生方のご協力が必要です。これからも岐阜県歯科医師会の先生方には当センターでの周術期口腔機能管理業務に積極的に参加していただきたく、ご協力の程お願い申し上げます。

診療科の紹介



歯科口腔外科

病院歯科口腔外科における パラダイムシフト

■めざすのは咀嚼機能の回復

口腔外科の最終的な到達目標は、患者が顎顔面口腔領域の疾患から、主に外科的手法を持って最終的に咀嚼ができるようにすることです。咀嚼機能の回復は医療の質の向上、患者のQOLの向上に繋がることがわかってきました。現在当科では、埋伏智歯や過剰埋伏歯、顎嚢胞、顎骨腫瘍、顎関節症、口腔粘膜疾患や悪性新生物等、多くの患者様を地域の先生方から紹介していただいております。手術件数は年間約400件程度になってきました。

■当センター口腔外科の独立した専門性

日本口腔外科学会研修施設、日本顎関節学会関連研修施設として顎関節造影検査や顎関節形成術を行える中部地区では数少ない医療施設です。県内はもちろんのこと、他府県からもしばしば患者様が紹介され、検査・手術を行っています。また、2022年4月からは口腔腫瘍科が新設され、岐阜大学病院から加藤恵三先生が赴任されて腫瘍分野の強化がなされました。

■高度二次医療機関における口腔外科の役割

平成25年から我々病院歯科での新たな業務として周術期口腔機能管理が始まりました。がん手術、心臓手術、脳血管手術、人工関節手術等の患者様に専門的口腔機能管理を行うことで術後、誤嚥性肺炎などの合併症が減り、使用薬剤や在院日数の減少へとつながっています。このように他の診療科患者の口腔機能管理を行うことは病院歯科口腔外科医療のパラダイムシフトと捉えられ、特に高度二次医療機関では必要不可欠な機能と言えます。



Morishita Kentaro
森下 健太郎

専門分野

心不全
虚血性心疾患
構造的な心疾患

新任部長の挨拶



循環器内科：高血圧科部長

2022年9月より赴任した森下健太郎と申します。これまで心不全、虚血性心疾患、肺高血圧症など循環器疾患全般の診療や集中治療領域など幅広い診療を心がけ実践して参りました。この度、高血圧科部長を拝命しましたが、高血圧が心疾患、脳血管疾患、腎不全など様々な疾患の原因となることは周知の事実であり、高血圧を早期発見し、適正なタイミングで治療を開始することはそれら疾患を未然に防ぐ意味で非常に重要です。統計によれば我が国の高血圧患者数は4300万人、そのうち約3000万人は未治療または治療中ではあるものの管理不良という現状があります。先生方の日常診療で難治性高血圧の患者様や高血圧合併症のスクリーニングが必要な患者様などがいらっしゃいましたら是非ご相談ください。

資格

- 医学博士
- 日本内科学会 総合内科専門医・指導医
- 日本循環器学会 専門医・東海支部評議員
- 日本救急医学会 専門医
- 日本集中治療医学会 専門医
- 日本心血管インターベンション学会 専門医
- 日本心臓リハビリテーション学会 認定指導士
- 日本プライマリケア連合学会 指導医
- 日本化学療法学会 抗菌化学療法認定医
- ICD認定医(インフェクションドクター)
- 臨床研修指導医

全診療科対応のWEB診察予約開始のお知らせ

2023年1月よりWEB診察予約開始!

当センターでは「地域医療支援病院」としてご紹介いただいた患者さんが優先的に受診していただける体制を整えております。その一環として、これまでのFAX予約枠と共通でWEB予約枠を整備しました。



全診療科対象!

- 全診療科の診察予約可能
- 24時間受付対応
- 診察希望日の前日18時まで予約可能

これまでは小児科のみで運用しておりましたインターネット診療予約サイトを閉鎖し、全診療科の診察予約がWEBで行えるようになります。WEB予約は24時間稼働しており、診察希望日の前日(営業日)18時まで予約が可能です。診察室で患者さんにご相談していたきながら、予約確定と予約票印刷を行えます。

WEB予約利用申込の詳細は 当センターホームページで!

当センターホームページにWEB予約利用申込の手続きに必要な書類等をアップロードしております。是非、お申込みいただき、WEB予約をご利用ください。

診療予約サイト



診察を円滑にすすめるためのお願い

事前に診療情報提供書をいただくことにより、ご紹介いただいた患者さんをお待たせすることのないよう診察を円滑にすすめる準備をいたします。患者さんの診療情報提供書は、できるだけ予約と同日にFAXにて送信くださるようお願いいたします。

看護部からのお知らせ

Nursing News

「認定・専門看護師のWEB訪問」始動!



訪問看護師の方が、患者さんのケアや対応・処置に対する相談の必要性が生じた場合に、共に支援できる体制を整備しましたのでご案内を致します。

現場での確認やご本人やご家族の方ともコミュニケーションを通して、問題解決に向けて積極的に関わっていきます。地域の医療機関と連携をとりながら、遠隔地であっても比較的タイムリーな介入ができますので、是非ご利用ください。

尚、詳細な内容については、看護部にお問い合わせください。



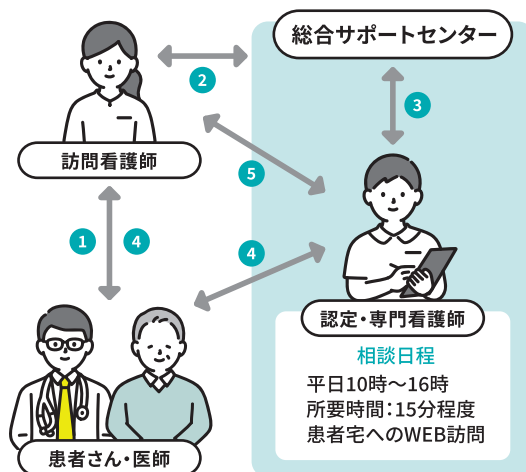
対象の患者さん 在宅診療を受けながら当院の外来に通院している方。

相談内容 医療的な処置を必要とされている方や、日常生活に障害を抱えながら自宅で生活をされている方のケアや処置で困っている、相談したいこと。

相談方法 下記領域の認定・専門看護師が訪問看護師の方と連携し、在宅訪問時にWEBを通して共に訪問する。

WEB訪問の手順

- 1 訪問看護師がかりつけ医師、患者さんから同意を得る
- 2 訪問看護師が総合サポートセンターに相談
- 3 総合サポートセンターと認定・専門看護師が日程を調整
- 4 訪問看護師の自宅訪問時に認定・専門看護師がWEBを通してリモート訪問
- 5 認定・専門看護師が訪問看護師に情報共有用紙を提出



分野

- 皮膚排泄ケア
- 重症集中ケア
- 乳がん看護
- 認知症ケア
- 緩和ケア
- 慢性心不全看護
- 新生児集中ケア
- がん化学療法看護
- 摂食・嚥下障害看護
- がん性疼痛看護
- 脳卒中リハビリテーション看護
- 小児専門看護

れんけい vol.44 編集後記

新年を迎え、広報誌「れんけい」のデザインを一新いたしました。今回はベストドクターの活躍を知っていただくの特集いたしました。いかがでしたでしょうか。今後も当センターのことをより分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。ご意見・ご感想などお知らせいただけますと幸いです。また、6ページの記事でお知らせしました「WEB診察予約」とともに、1月に電子カルテが更新となりました。開放型病床での共同診療および救急外来の応援医として来院いただいております先生方には直接使用していただく機会があると思います。新しい電子カルテは患者さんへの効率的な医療提供に効果のある機能が増えましたので、うまく活用していきたいと思っております。

地方独立行政法人 岐阜県総合医療センター

〒500-8717 岐阜県岐阜市野一色4丁目6番1号
総合サポートセンター地域医療連携部 直通
TEL 058-249-0017 FAX 058-248-9334

発行 / 岐阜県総合医療センター
総合サポートセンター地域医療連携部